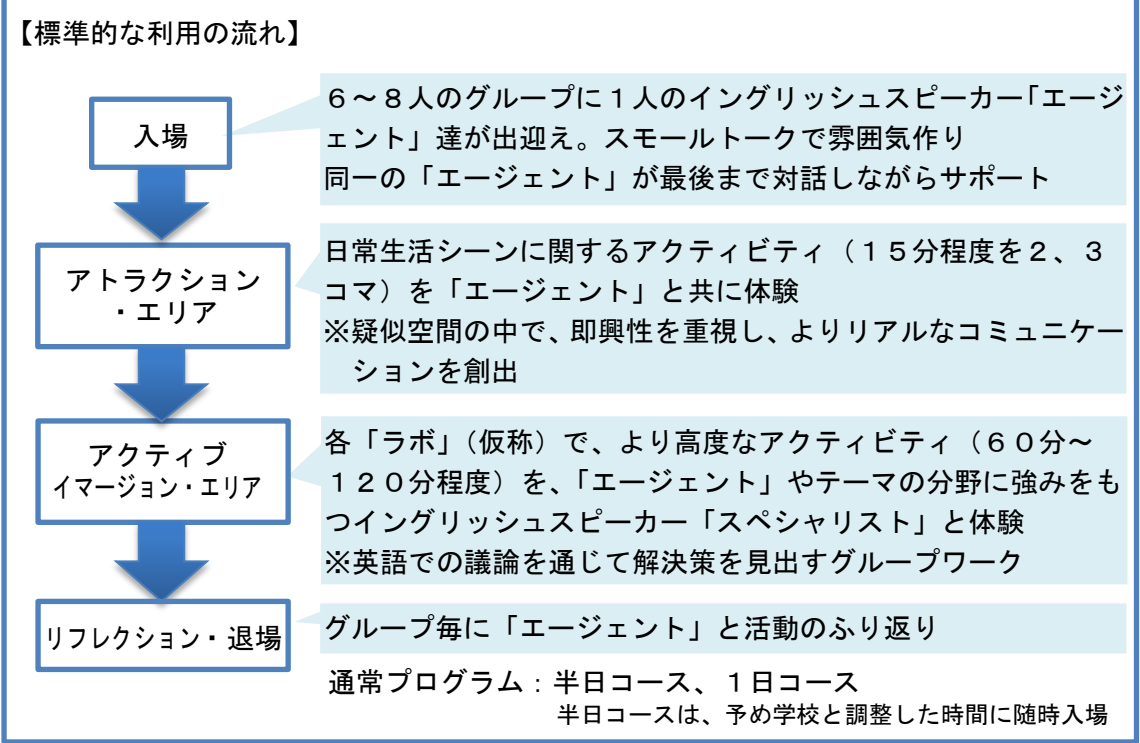


# TOKYO GLOBAL GATEWAY の概要について

## 事業概要 —グローバル社会に生きる自分を発見する体験型英語学習施設—

<p><b>【事業者】</b> 株 TOKYO GLOBAL GATEWAY                  &lt;構成員&gt;                  株学研HD、株市進HD、株エデュレイルシーエー、(一財)英語教育協議会、株博報堂</p> <p><b>【開設場所】</b> タイム24ビル 江東区青海2-4-32 1~3階 約7千㎡                  (ゆりかもめ「テレコムセンター」駅から徒歩2分)</p> <p><b>【都による財政支援】</b>                  ・事業施設賃料の10分の10                  ・開業前の施設改修経費の2分の1 } を補助金交付</p>	<p>&lt;これまでの経緯と今後の予定&gt;</p> <p>平成28年 3月 「英語村(仮称)」事業実施方針及び募集要項を公表                  平成28年 9月 最優秀事業応募者を選定                  平成29年 3月 事業者及び施設名称の決定                  平成29年 4月 施設整備開始                  平成29年 9月 予約受付開始予定(都内学校団体から順次開始)                  平成30年7月頃 プレオープン予定                  平成30年 9月 開業予定 ⇒ 平成40年度末まで営業予定</p>
--	--

## プログラム内容 —英語を使用する楽しさや必要性を体感できる仕組み—



## 利用時間・料金

**【主な利用時間】** 9~17時

**【団体・日帰り】**

通常プログラム	都内	都外
半日コース(3.5時間)	2,400円	3,500円
1日コース(7時間)	4,800円	6,800円

※1人あたり税抜価格  
 ※ランチ追加費用500円(弁当持参も可)

**【団体・宿泊】(検討中)**

1泊2日	15,000円
2泊3日	25,000円

※利用料のみの参考価格  
 宿泊場所、移動手段によって総額は異なる。

## 想定する主な利用形態等

- ・都内小学校(主に5、6年生。より低学年による利用も可)から高等学校の団体利用を優先。英語の教科や総合的な学習の時間、学校行事等での利用を想定。個人利用も可
- ・20万人/年を受入可能

# TOKYO GLOBAL GATEWAY のアクティビティイメージ

## アトラクション・エリア

### 【アクティビティ例】

Drugstore
Clinic
Travel agency
Kiosk
Restaurant / Café
Fast-food shop
Telephone
School office
Airplane
Hotel
⋮

- ・日常生活を題材にした サバイバル・イングリッシュ
- ・海外で、自分の要求や状態を伝えるトレーニング
- ・与えられたミッションを、意欲的に解決
- ・困っている外国人の案内やボランティア等に役立つ実践

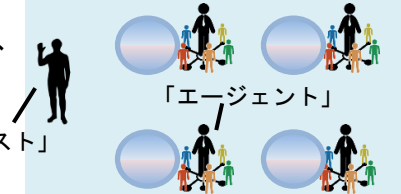
## アクティブイマージョン・エリア

### 【アクティビティ例】

タイトル(仮)	カテゴリー	内容イメージ
Maze programming	プログラミング	ボールロボットの動く軌跡をプログラムし、迷路を脱出
Bridge designing	サイエンス	竹ひごと粘土を使って橋を作成し、デザインや強度を競争
Marketing	ビジネス	企業のリアルなマーケティングに関する企画提案とプレゼンテーションを実施
A 15 second CM of an attraction in Tokyo	ビジネス	訪都外国人の調査資料等をグループで分析し、分析結果に基づくCMを作成
Sado 茶道	日本文化	茶室での振る舞い、点茶や喫茶の作法と共に、設えなど茶会に必要な要素を体験やクイズ等を通して学習
Discussion on social issues	ディスカッション	大学レベルの先取りとなるような、世界共通の課題・テーマを用いた議論
Debate	ディベート	学校対抗やオンラインでの海外(国内も)接続なども想定
		⋮

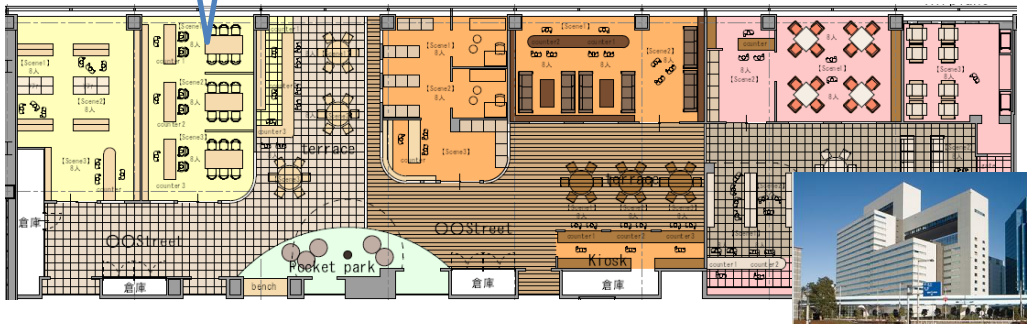
### ＜アクティビティのイメージ＞

グループ毎に、「エージェント」やチームメイトと、英語で議論しながら、解決策や新たなアイデアを生み出す探究的なグループワーク



「スペシャリスト」

### 【フロアイメージ（2階部分の例）】



【タイム24ビル】

### 【他の機関等との連携による、より実践的な体験機会の創出】

東京ならではのリソースを活用し、子供たちが海外に目を向けるきっかけとなるようなプログラム（イベント、アクティビティへの素材等の提供、プロモーション映像等、海外大学の紹介等）を展開

（連携先の例） 東京都教育委員会が教育に関する包括的な覚書を締結している海外の国・州（オーストラリア クイーンズランド州や、ニュージーランド等）、JICAなどの国際機関、在京大使館、JASSO（タイム24ビル近隣の東京国際交流館等）、グローバル企業等

※アクティビティについては、今後変更する可能性があります。